

## 平成20年度総会が開催されました

平成20年度の事業計画が承認され、役員が選出されました。



会長  
塚田 昌稔

### ごあいさつ

去る5月26日の総会において、図らずも会長に選任されその責任の重大さに身引きしまる思いでいっぱいでありました。浅学非才、その器では在りませんが、皆様のご指導ご協力を頂きながら、住み良い地域づくりのために、微力を尽くして参りたいと思っておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。七二会地区住民自治協議会は、2月の創立から本年度は具体的な事業実施の年になりました。本地区は、若い世代が市街地等の地区外へ転出し、少子高齢化、過疎化、核家族化が著しく区集落での自治活動や、生活道路の草刈、側溝の清掃、除雪等の社会的共同生活に困難をきたす、いわゆる「限界集落」と言われる集落も出ているのが現状であります。

そこで七二会地区住民自治協議会として、本年度は七二会地域輸送協議会から移行を受けた、乗合タクシー「じんば号」の運行断続。すくだし支援事業による、市道バス路線の支障木伐採、パソコン等の事務機器の整備、史跡看板の設置。中山間地住民自治モデル事業による、高齢化率50パーセント以上の集落に対し、支援員により有償で、公道の草刈、側溝清掃、除雪作業等を実施する他、平成22年度から、市長委託が廃止され任意団体になり、補助金も七二会地区住民自治協議会へ一括交付となる七二会地区区長会他9団体に付いて、今後の団体の在り方や、組織、事業内容の見直し、伴う予算に付いて、検討を進めております。またこれらの事務を行う為の事務局体制の充実が不可欠で在るため、太田志郎、宮沢兵衛両氏に専任事務をお願い致したところであります。

平成22年度の都市内分権の本格スタートに向け、関係団体並びに各部会との連携を図り、ボランティアのご協力を頂ながら、市との共働のもと、『住んでいて良かった』と思える、七二会地域づくりを目指したいと思っております。

## 新しい地域づくり

七二会支所長 岩崎 利寧

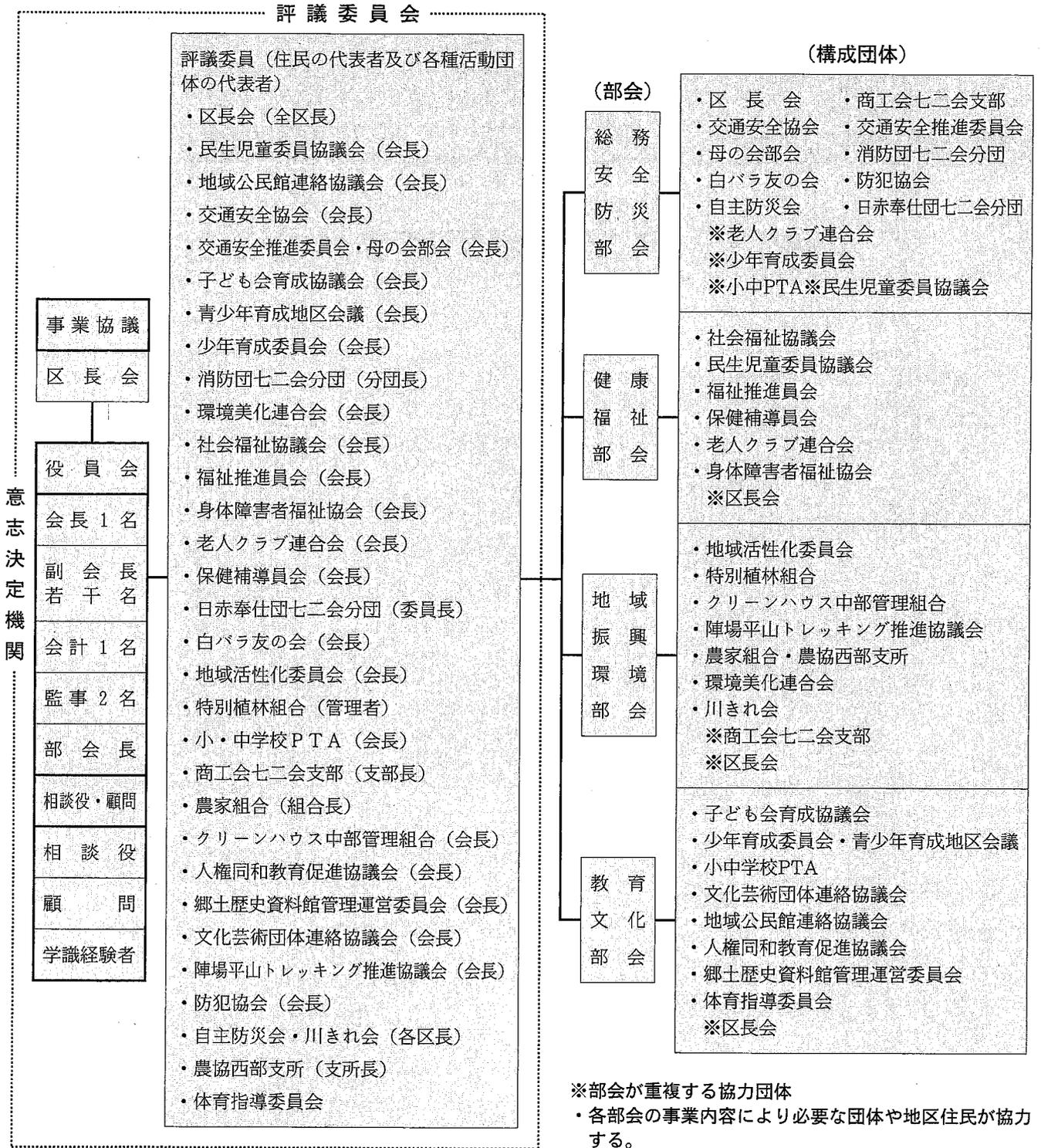
行政はこれまで、様々な公的支援を一手に担ってきましたが、近年では求められる公的支援の多様化や自治体の効率的な行財政運営の必要性などから、従来どおりの公的支援を維持、提供することが困難な状況になっています。

今後は「地域のことは、地域で決める」という考えのもと、行政だけではなく、地域の多様な主体と連携し役割分担をしながら、課題を解決したり活性化に向けた取組を進めていけるような環境を整える必要があります。そして地域のことは、そこに住む人が一番良く知っています。こんな地域にしたいという自分たちの夢を最も適切なやり方で実現する方法を知っているのは皆さんです。地域で何か困っている事が有る時、まず自分達たちで何が出来るか考えてみて必要なら行政と協力して問題解決していく、そうすることで地域が住み易くなり、地域への愛着が増し、地域全体の価値を高めていくことが出来ます。

このため住民自治協議会の自発的に活発な活動推進には、地区住民の理解と協力が必要不可欠であります。住民自治の充実を図るため、行政と住民等、地区の多様な主体が協力し合いながら、身近な課題を解決し地域力向上に向けた様々な取り組みを進めることにより、新しい七二会地区を目指しましょう。



# 七二会地区住民自治協議会 組織構成図



意志決定機関

- 事業協議
- 区長会
- 役員会
- 会長 1名
- 副会長 若干名
- 会計 1名
- 監事 2名
- 部会長
- 相談役・顧問
- 相談役
- 顧問
- 学識経験者

## 平成20年度役員紹介

役名	氏名	役名	氏名
会長	塚田 昌稔（区長会）	部会長・総務安全防災	太田 正彦（区長会）
副会長	鈴木 睦人（民生児童委員協議会）	部会長・健康福祉	峯村 敬一（社会福祉協議会）
副会長	石坂 貞幸（地域公民館連絡協議会）	部会長・地域振興環境	渡辺 昌孝（活性化委員会）
副会長	太田 正彦（区長会）	部会長・教育文化	石坂 貞幸（地域公民館連絡協議会）
会計	石坂 政善（区長会）	相談役・顧問	小林紀美子、渡辺昌孝、太田志郎、宮澤兵衛
監事	酒井 健次（商工会）		
監事	塚田喜久男（老人クラブ）		

# 七二会地区住民自治協議会 平成20年度事業計画

創立後、本格的な活動を展開する平成20年度は、以下のとおり概在各種団体が昨年まで実施してきた事業をより充実し展開するとともに、新規に展開する事業に合わせて実施し、将来像「住んで良かった七二会」の実現を目指します。

## 総務・安全・防災部会

1. 組織の見直し。それぞれの組織の持つ役割、地域を支えてきた意味、事業費も含め精査し組織の組替を検討しております。この作業の中で専従事務局員が必要に迫られ、事務局の設置と事務員の選任をさせて頂きました。
2. 「中山間地支援モデル事業」の指定地区を17地区に選定し事業計画を立て活動を始めました。「づくだし支援事業」についても、各区からの要望の中より、史跡看板の製作、道路の日陰対策として樹木伐採を計画致しました。
3. 安全安心を守る七二会消防分署の人員削減反対署名活動、又地域土木の要である土尻川砂防事務所の廃止反対署名活動、共に関係町村とともに取り組みました。
4. 9月1日の「防災の日」に併せ、自主防災会の初仕事とも言える、「緊急連絡訓練」を支所の協力を得て実施、災害時有線電話で各小区長まで連絡が到達までに7分程かかる事が確認できました。
5. 地域の足である「乗合タクシー陣場号」の有効利用と合理的運行に付いて学習会を開き行政と協議を進めております。

## 健康・福祉部会

1. 地域の健康増進と福祉推進を効率的に関係団体のネットワーク化を図り、現在の事業を七二会地区住民自治協議会の中で推進していく事としました。
2. 委嘱制度の廃止により、平成22年度より任意組織、任意団体それぞれの事業を検討し、地域福祉については、今七二会地区福祉協議会が策定している地域福祉活動計画を、七二会地区住民自治協議会に位置付け、地域福祉を推進していく事としました。
3. 保健補導委員に付いては、地域の健康増進を図る必要から役職の見直しと併せ検討する事としました。

## 地域振興・環境部会

各団体の年次計画に基づき実施しており、共通出来る内容を出し合い部会運営を進めて行きたい。

1. トレッキング大会開催、春、秋開催予定、今年は春秋バージョンのピンバッチを作成。
2. 「ふれあい市」年2回開催、夏は「盆前のお花市」地場の中心市場で開催。
3. 遊休荒廃農地対策として、優良農地の復元事業を進めています。又地区内の生産意欲を高める為に、冬期間に、優良事例の発表会と講演会を予定していますので、多数の方のご参加を御願い致します。
4. 近年、熊、イノシシ、シカ、たぬき、鳥類等に依る農作物被害が発生しており、又学童等人的被害も心配されますので、今まで参画していなかった「有害鳥獣対策委員会」を役員会に計り参画していただく様進めた処です。

## 教育・文化部会

各団体の現在実施している事業の見直し、予算の見直し、統廃合等を行い、平成22年度からの自治協議会への移行がスムーズに出来る様、部会員の意見を聞きながら進めております。

# 中山間地域自治活動支援モデル事業の概要

## 趣旨

人口減少や高齢化等により、社会的共同活動が難しくなっている中山間地集落の自治活動の方策を探るとともに支援を図る。

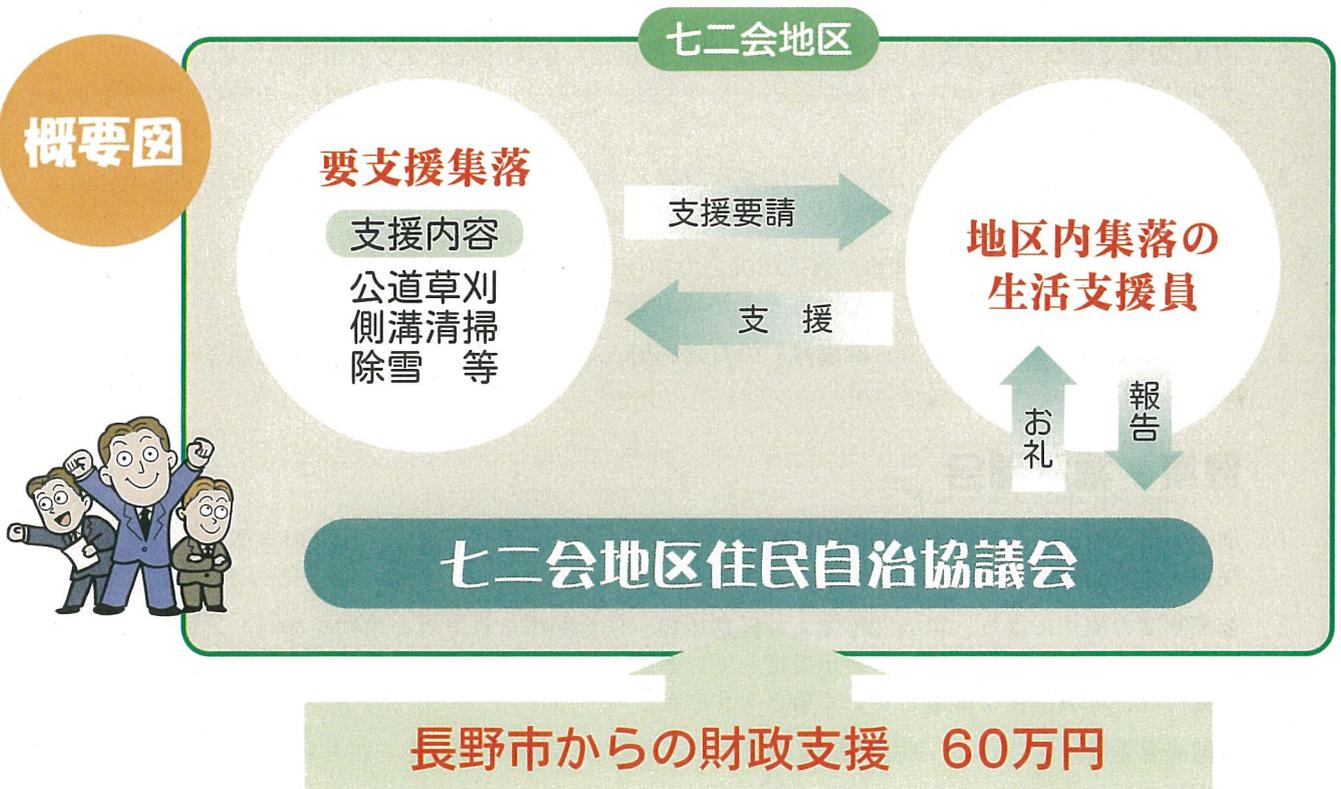
## 要支援集落

高齢者が集落人口の半数を超えるなど、支援が必要とされ、住民自治協議会が選定した集落（新屋、矢沢、滝屋、坪根、論地、谷原、塩、平出中、知足院、大久保、橋詰、岩草、中尾、遠見、戸倉、小坂、大安寺西）

## 生活支援員

住民自治協議会が地区内の住民の中から選任し、要支援集落が必要とする支援を行う。

## 概要図



# ずくだし支援事業の概要（平成21年度まで）

## 趣旨

住民自治協議会における、地域の身近な課題への取組みやまちづくり、活性化等についての事業を促進する。

## 対象経費

市協議会運営費、新たに実施する事業（市交付金8割、地域負担2割）  
交付金限度額 387,000円

## 今年度事業

史跡説明看板設置、広報誌作成のための機器購入等を予定しています。



## あとがき

七二会地区住民自治協議会だより、第1号発行の運びとなりました。住民自治協議会では、今計画、実施している事を地域の皆さんに知って頂き、ご理解とご協力を頂きたいと思っております。

広報担当：倉田 健・吉澤恵佐男

